

平成 19 年 11 月 8 日

各 位

会 社 名 関 東 電 化 工 業 株 式 会 社  
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 富 田 芳 男  
 (コード番号 4047 東証第 1 部)  
 問 合 せ 先 人 事 総 務 部 専 任 部 長 浦 本 邦 彦  
 (TEL. 03 - 3216 - 4561 )

## 連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 5 月 15 日の決算発表時に公表した平成 20 年 3 月期（平成 19 年 4 月 1 日 ～ 平成 20 年 3 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

1. 平成 20 年 3 月期中間連結業績予想数値の修正（平成 19 年 4 月 1 日 ～ 平成 19 年 9 月 30 日）  
 （単位：百万円、%）

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1 株当たり 中間純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	21,000	1,700	1,500	700	12 円 17 銭
今 回 修 正 予 想 (B)	20,900	2,350	2,300	1,550	26 円 94 銭
増 減 額 (B-A)	△100	650	800	850	-
増 減 率 (%)	△0.5	38.2	53.3	121.4	-
(ご参考) 前期実績(平成 19 年 3 月中間期)	19,505	2,817	2,741	1,371	23 円 88 銭

2. 平成 20 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 19 年 4 月 1 日 ～ 平成 20 年 3 月 31 日）  
 （単位：百万円、%）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	43,500	4,500	4,200	2,200	38 円 24 銭
今 回 修 正 予 想 (B)	43,500	5,300	5,000	3,000	52 円 14 銭
増 減 額 (B-A)	0	800	800	800	-
増 減 率 (%)	-	17.8	19.0	36.4	-
(ご参考) 前期実績(平成 19 年 3 月期)	40,885	6,679	6,533	3,181	55 円 33 銭

### 3. 修正の理由

当中間期の売上高はほぼ計画どおりの見込みです。基礎化学品事業部門については、か性ソーダおよび塩酸の売上はほぼ計画どおりの見込みです。トリクロールエチレンは需要が堅調で販売数量が伸展したため、売上は計画を上回る見込みです。その他の有機製品も堅調に推移しております。精密化学品事業部門については、三フッ化窒素、六フッ化タングステンが競争の激化により、売上は計画を若干下回りますが、その他のガス類はほぼ計画どおりの売上となる見込みです。電池材料の売上は、計画を上回る見込みです。その他事業部門については、売上はほぼ計画どおりの見込みです。

一方、費用面におきましては、減価償却費や支払作業費が計画を下回るほか、コストダウンの効果もあり、売上原価は計画を下回る見込みです。

以上により、当中間期は、売上高はほぼ計画どおりですが、営業利益、経常利益および当期純利益は、計画を上回る見込みです。

下半期につきましては、半導体・液晶とも引き続き好調を維持し、三フッ化窒素をはじめとする特殊ガス類や電池材料の需要は堅調に推移すると予想しております。しかしながら、もともと下半期に重点を置いた計画にしていることに加え、競争激化による販売価格低下や原燃料価格の高止まりもあり、通期の連結業績見通しにつきましては、売上高は 435 億円（前回公表数値どおり）、営業利益は 53 億円（前回公表数値に対して 8 億円増）、経常利益は 50 億円（同 8 億円増）、当期純利益は 30 億円（同 8 億円増）と予想しております。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明（将来に関する記述等についてのご注意）

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なります。

以 上